

皆が豊かで幸せな町を 実感できる取り組みを

平成27年第1回町議会定例会が3月10日から13日まで開かれ、平成27年度予算案などが審議されました。

徳永町長が行った町政執行方針と、小林教育長の教育行政方針の概要をお知らせします。



平成27年度町政執行方針
町長 徳永 哲雄

地に足をつけ 慎重に足取りを進め 住民満足度の向上を

国の経済政策により、景気は緩やかに回復しつつあるといわれています。しかし地方では、少子高齢化や人口減少などによる経済の縮小が急激に進み、依然、厳しい状況です。

国の「地方創生」などの動きが活発化する中、きめ細かい効率的な財政運営を進め、観光と農業を基幹とする産業振興、医療福祉・介護、子育ての充実、教育振興、防災・減災対策など

どに全力で取り組んでいきます。

行政の総合力を最大限に発揮するため「体感」や「チーム」の意識を町役場全体に持たせたい。

第5次総合計画にかかげるまちの将来像「水と森と人が輝き、活力あふれる自立したまち」の実現に向けて、施策・事務事業を着実に実行し、住民満足度の向上を目指します。

国が推奨する地方版「人口ビジョン」や「総合戦略」の策定にも注力し「人口減少対策」や「地方創生」を念頭に、25年後の将来像とその達成に向けた、より実効性の高い計画策定に取り組みます。

公共施設の老朽化が進む中、適切な公共サービスの提供と安定した財政運営の両立のため、公共施設を総合的に把握し、財政運営と連動させながら管理・活用する「公共施設マネジメント」を進めていきます。

環 人と自然が共生 する

自然環境の保全と活用

- ▼ 摩周湖の大气汚染調査や登山道の維持管理。
- ▼ 屈斜路湖湖水利利用に関する課題の整理や魚類などの保全。
- ▼ 関係機関・団体などとの協働によるエコツーリズム全体構想の推進。

活 まちに活力・活気・ 雇用を生み出す

観光と農業を柱とした地域活性化の推進

- ▼ 町とJA摩周湖農業協同組合、弟子屈町商工会の産業間連携による特産品の掘り起こしと、ふるさと納税の仕組みの活用。

循環型社会の構築

- ▼ 自然エネルギーの導入支援や調査研究と、有効活用に向けた支援。
- ▼ 空き瓶(廃棄物)の分別方法の簡素化。



摩周湖に設置された大気調査機器

雇用・新産業の創出

- ▼ 資格取得支援制度、雇用対策事業による離職者の雇用推進。
- ▼ 複数の企業が共同で人材を確保できる仕組みの検討。

足腰の強い産業育成

- ▼ 耕畜連携による域内自給飼料の確保。
- ▼ 根室・釧路管内市町村長、JA組合長による「根釧酪農ビジョン」基本構想に基づく、根釧酪農や地域の持続的発展への取り組み。
- ▼ 「鹿兒島黒牛」のチャンピオン牛生活用による、優良繁殖牛の増頭。
- ▼ 新規就農など多様な経営体、づくりによる、中小規模でも営農が継続できるような支援の推進。
- ▼ 家畜ふん尿の臭気対策の推進。
- ▼ 家畜伝染病の防疫対策やエゾシカによる農業被害対策の継続。



ワイン醸造用ブドウの栽培をさらに拡大

- ▼ 「経営所得安定対策」の改善に係る要望の実施。
- ▼ 新たな作物導入による経営形態の見直しや、輪作体系の確立。
- ▼ 摩周メロンや摩周そばなどのブランド力の確立。
- ▼ 環境に配慮した土づくりの推進。
- ▼ ワイン用ブドウの栽培面積拡大。
- ▼ 農道整備や公共牧場整備などの計画的な実施による、草地改良などの推進。
- ▼ 森林整備計画に基づく森づくりの推進。
- ▼ 林業専用道整備や町有林造林事業の継続。
- ▼ プレミアム商品券による町内消費喚起への支援。
- ▼ 道の駅「摩周温泉」利用者の町中への誘導。
- ▼ 訪日外国人の町内消費拡大への取り組み。
- ▼ 中小企業振興条例(融資制度や企業振興促進条例)による既存企業の支援。
- ▼ 企業誘致活動による、雇用の場の確保と社会的流入人口の増加。
- ▼ 訪日外国人に対する観光誘致活動の継続。
- ▼ 町民宿泊支援事業の継続。
- ▼ 釧網線の利用促進と、バスなど町内2次交通の整備。
- ▼ 阿寒国立公園の名称変更への働きかけ。
- ▼ 観光の復活への取り組み。



多くの観光客でにぎわう道の駅

暮 誰もが安心して暮らせる

保健医療体制の充実

- ▼ 各種がん検診、特定健診の受診率向上に向けた、保健指導や健康教育の充実。
- ▼ 各種予防接種の円滑な実施と、接種費用の助成の継続。
- ▼ 摩周厚生病院のCT・MRIの更新整備に対する補助の実施。
- ▼ 乳幼児・中学生の医療費の実質無料化。

地域福祉の充実

- ▼ 移転改築中の特別養護・養護老人ホームの供用開始。
- ▼ 福祉避難所としての機能も持つ老人ホーム併設の地域交流ホールにおける、災害時運用のマニュアル化や訓練の実施。
- ▼ サービス付き高齢者向け住宅などの建設についての検討。
- ▼ 介護保険給付サービスの有効活用による、認知症などの予防事業の充実。
- ▼ 緊急時に備えた要援護者台帳の充実。
- ▼ 社会福祉協議会との連携による、高齢者の健康保持と生きがいのある生活への援助。
- ▼ 障害者総合支援法の適正な運用と、福祉用具の給付や相談支援など各種サービスの継続。
- ▼ 第4期障がい福祉計画の安定的な制度実施。

子育て支援

- ▼ 妊婦健診費用の助成など出産支援の継続実施。
- ▼ 保育園や幼稚園の利用者負担の3分の1助成の継続。

※地方創生における国の支援により、3分の1助成から2分の1助成に拡大。

- ▼標準保育時間の1時間延長など、乳幼児・学童の保育の充実。
- ▼子ども発達支援センターにおける指導と支援の充実。
- ▼子育て支援センターにおける未就学児家庭への訪問支援の充実と、親子の愛着関係を深めるための支援、育児の孤立や不安、負担感の解消につながる支援の推進。
- ▼放課後児童クラブにおける働く保護者の支援、利用児童の安全と健康の確保。
- ▼児童虐待の未然防止と早期発見。
- ▼「子ども・子育て支援事業計画」に基づく、地域の子ども・子育て家庭全体を対象とした支援の実施。

生活基盤の向上

- ▼水道事業における石綿管の改修と管路図の電子化、美留和地区



保育の充実を目指して

- への井戸の整備。
- ▼温泉事業における老朽化した温泉管と配湯設備の更新。
- ▼摩周地区の下水道工事の実施。
- ▼浄化センターの計測設備の更新。
- ▼下水道未普及地域の整備手法などの検討。
- ▼住宅マスタープランと公営住宅長寿命化計画の見直し。
- ▼建て替え中の公営住宅泉ヶ丘団地3棟12戸の建設。
- ▼みはらし台団地2号棟の長寿命化改善工事と住環境の改善工事、物置の改築の実施。
- ▼民間住宅の新築・リフォーム支援の継続。
- ▼花いっぱい運動の推進。
- ▼「空家等対策計画」の策定と、利用可能な空き家や土地の流通促進を図る「空き家バンク制度」の創設。
- ▼水郷公園など都市公園の老朽化施設の改築・更新の実施。
- ▼町道維持管理の徹底と冬期除雪の充実・効率化。
- ▼町道奥春別団地線、釣別西5号線の改良・舗装工事の継続。
- ▼町道泉町7号線の整備と釣別43線の防雪柵新設工事の実施。
- ▼橋梁(きょうりょう)の修繕の計画的な推進。
- ▼国や北海道に対する国道・道道の維持と改良に関する要望の実施。
- ▼生活路線バスの維持運行への取り組み。



定期的な防災訓練でいざというときに備えて

安全・安心の確保

- ▼弟子屈警察署・関係機関との連携による、テロ対策川上地区・パートナーシップ推進協議会の設立。
- ▼関係機関・団体との協働による交通安全運動の推進。
- ▼生活安全推進協議会・防犯協会・暴力追放運動推進協議会などとの連携による犯罪防止への取り組み。
- ▼消費者被害防止への意識啓発。
- ▼消防庁舎改築事業に係る実施設計。
- ▼災害時における、町ホームページや携帯電話などへのエリアメールなどによる防災情報の提供。
- ▼アトサヌプリの噴火警戒レベルの導入についての準備。
- ▼自治会単位での自主防災組織づくりの推進。
- ▼定期的な防災訓練の実施。

- ▼未来を担う子どもたちを地域全体で健やかに育む体制づくり。

文化・スポーツ活動の推進

- ▼町民が気軽に文化やスポーツ活動に親しめる機会の充実。
- ▼文化協会、体育協会など推進団体への支援の継続。
- ▼児童生徒のスポーツ・文化の全道・全国大会への出場助成の継続。
- ▼文化財や郷土芸能の保護・保存と、伝承活動への支援。
- ▼「てしかがの蔵」活用による、郷土の歴史・文化の継承。
- ▼北海道縄文のまち連絡協議会との連携による、縄文遺跡の歴史的意義を知る機会の提供。
- ▼関係機関との連携による、アイヌの歴史・文化に関する知識の普及啓発と、アイヌ古式舞踊などの伝承・保存活動の支援。



アイヌ文化を広く伝えていくため

人 興味と関心を持ち、行動する人を育てる

- 人材育成・人づくり・人材の確保
- ▼「地域おこし協力隊」募集と町外からの人材の登用による、地域をけん引するリーダーの育成。
- ▼高齢者が知識や経験を生かし、地域や社会に参加できるようなシステムづくりや支援の検討。

まちづくりを支えるネットワークの形成・交流活動支援

- ▼まちづくりに資するさまざまな人材の掘り起こしと、インターネットによる人材活用ネットワークづくり「人財バンク」の推進。
- ▼姉妹都市・鹿児島県日置市への町民訪問団組織による訪問と交流。
- ▼(仮)和牛祭2015 in てしかが開催など、日置市との連携による産業活性化の推進。

公 誰でもまちづくりに参加することができる

- ともに汗をかき進めるまちづくり
- ▼南弟子屈自治会や地域おこし協力隊、行政、民間事業者などとの連携による、昭栄小学校の跡地利用を含めた南弟子屈の地域づくり。



町政情報の発信を充実

時代に即し、透明性の高い行政運営

- ▼町公式ホームページのリニューアルによる、町政情報の提供と情報共有の推進。
- ▼タウンメールや町民アンケート、町政懇談会、自治会総会などで得た意見の町政運営への反映。
- ▼総合サービス室における、さらに便利で充実したサービスの向上。
- ▼町職員の研修制度の充実と、地方公務員法改正による「人事評価制度」の導入に向けた準備。
- ▼町税における厳正で積極的な滞納処分の推進と、さらなる税収の確保。
- ▼町税のクレジット収納、コンビニエンスストア収納の導入に向けた準備。

今後、町民の皆さんが「豊かで幸せな町」を実現できるよう、全力で取り組みんでいきます。

- ▼非常食や水、毛布などの備蓄品の計画的な購入。

育 豊かな心を育て、文化を大切に

学校教育の充実

- ▼町学力調査や学習・生活習慣調査、新体力テストなどの継続。
- ▼教職員の資質向上に向けた校内研修での指導助言と、校外教職員研修への参加の促進。
- ▼学校教育用パソコンの更新など、情報・通信技術(ICT)活用の推進。
- ▼閉校により弟子屈小学校に通学する昭栄小学校児童への配慮。
- ▼一人一人のニーズに応じた、きめ細やかな特別支援教育の推進と、学びに必要な教材・教具などの整備。
- ▼校長や教頭、教務主任などの連携会議による情報の共有化。
- ▼集合学習やジュニア・パーク・レンジャー事業など、他校の子どもたちと共に学ぶ学習活動や事業などの支援継続。
- ▼弟子屈高等学校存続への働きかけ。
- ▼弟子屈高校生の通学バス利用への支援、文化・スポーツなどの全道・全国大会出場への助成の継続。

社会教育活動の推進

- ▼高齢者の仲間づくりや、多様な学習機会の提供。

平成27年度 予算のポイント

平成27年度一般会計予算は総額77億1千300万円で前年度比25.7%減額、国民健康保険特別会計など6つの特別会計の合計額は32億4千537万6千円で前年度比5.9%増額となっています。

一般会計の歳入については、税収の増額が見込めないこと、地方財政計画における各種交付金の伸びが期待できないことから、厳しい編成となりました。歳出は老人ホームの改築事業の主体工事が終了したため、前年度からは大幅な減額となりました。

今後も経済情勢や国の制度などを見極めながら、健全な財政運営に努めていきます。

※平成27年度予算の概要については、今月の広報紙に折り込まれている「てしかが町知って得する便利帳」を参照ください。